

第37回全国自治体政策研究交流会議 鹿児島・日置大会
第38回自治体学会 鹿児島・日置大会

統一テーマ

「まちづくりと地域人材のり・デザイン」

2024 8/23(金) ~ 8/24(土)

遠見蕃山から望む吹上浜

大会参加・情報交換会・エクスカージョン等のご案内

23日
(金)

○第37回全国自治体政策研究交流会議
鹿児島・日置大会

会場：日置市中央公民館
(日置市伊集院町郡一丁目100番地)
主催：日置市 共催：自治体学会

○第38回自治体学会 鹿児島・日置大会
研究発表セッション・表彰式・情報交換会

会場：日置市中央公民館
(日置市伊集院町郡一丁目100番地)
十八番館
(日置市伊集院町下谷口1970番地)
主催：自治体学会 共催：日置市

24日
(土)

○第38回自治体学会 鹿児島・日置大会
総会・全体会・分科会等

会場：日置市中央公民館
(日置市伊集院町郡一丁目100番地)
主催：自治体学会
共催：日置市

24日
(土)

○第38回自治体学会 鹿児島・日置大会
エクスカージョン

主催：自治体学会

「まちづくりと地域人材のり・デザイン」

第37回全国自治体政策研究交流会議鹿児島・日置大会 ごあいさつ

第38回自治体学会が、ここ日置市におきまして盛大に開催されることを心よりお喜び申し上げます。

また、第37回全国自治体政策研究交流会議の主催及び自治体学会の大会開催地として、全国各地からお越しいただきます皆様に深く御礼申し上げるとともに、阿部理事長をはじめとする自治体学会の皆様や関係各位が、日頃より地方自治やまちづくりに関する研究、ネットワークの形成を实践され、地方自治の発展やまちづくりの推進に多大なる御尽力をいただいておりますことに、深く敬意を表します。

日置市は、鹿児島県西部にある薩摩半島のほぼ中央に位置し、東は県都鹿児島市、西は白砂青松の吹上浜や東シナ海に接する自然環境の豊かなまちです。

妙円寺詣り、せつべとべ、流鏝馬などの歴史的な伝統行事や薩摩焼、優れた泉質を誇る温泉、オリーブやイチゴ、月日貝など多くの特産品も魅力の一つですので、その魅力を少しでも肌で感じていただければ幸いです。

政策研究交流会議では「日置市における自治体職員のキャリア形成戦略」をテーマに、様々な経歴を持つ方々をパネリストに迎え、会場の皆様からも御意見をいただきながら、これからのキャリア形成についての議論を深めることとしておりますので、ぜひ御参加ください。

結びに、今回の大会が、御参加の皆様にとって有意義なものになることを期待するとともに、関係者の皆様方の御健勝と御活躍を心から祈念申し上げまして、御挨拶とさせていただきます。

日置市長 永山由高

第38回自治体学会鹿児島・日置大会 ごあいさつ

第38回自治体学会鹿児島・日置大会の開催にあたり、開催に向けてご尽力いただいた永山由高市長をはじめとする日置市の皆さまに、心よりお礼申し上げます。ありがとうございます。

自治体学会はこれまで、原則として、全国自治体政策交流会議の開催地で、全国自治体政策交流会議と日程的に連続させて、毎年度の全国大会を開催してまいりました。例外は、東日本大震災の影響により全国自治体政策交流会議が開催されなかった2011年度と、コロナ禍により、やはり全国自治体政策交流会議が開催されなかった2020年度から2021年度までの3年間のみです。そして、全国自治体政策交流会議と日程的に連続して開催される際には、その主催者である都道府県や政令指定都市に、自治体学会全国大会の開催にも、多大なご協力をいただけてきました。開催地自治体の全面的な協力がなければ、自治体学会全国大会の開催は不可能であったというのが、偽らざる現実です。

今年度も、その例外ではありません。唯一の違いは、全国自治体政策交流会議の主催者となり、自治体学会全国大会の開催地となることをお引き受けいただいたのが、都道府県でも政令指定都市でもなく、人口5万人に満たない一般市であるということです。鹿児島・日置大会は、一般市に開催地をお引き受けいただいて開催する初めての自治体学会全国大会に他なりません。この初めての試みに、自治体学会と協働で取り組むことに賛同して下さった日置市の皆さんには、本当に感謝しております。

改めて申し述べるまでもないことですが、「消滅可能性自治体」の存在が注目を集めるなど、全国の自治体を取り巻く状況は厳しさを増しています。そうした状況を見据えつつ、地域社会の持続可能性を高めていくために、今何が求められているのかを改めて考える機会に、この自治体学会鹿児島・日置大会がなることを期待して止みません。

自治体学会理事長 阿部昌樹
(大阪公立大学教授)

《 開催概要 》

■ 第37回全国自治体政策研究交流会議鹿児島・日置大会

日程	内 容	会 場	備 考
8月23日(金)	テーマ「日置市における自治体職員のキャリア形成戦略」 13:00 開場・受付開始 14:00 開会挨拶 14:10 基調講演 永山 由高 日置市長 14:40 ゲストトーク コーディネーター 永山 由高 日置市長 パネリスト 藤川 ひかり 日置市職員 矢田 映人 公益財団法人サントリー芸術財団サントリーホール総務部長 森満 誠也 L R株式会社（経営企画室/日置 nova 担当/一級建築士） 水流 一水 鹿児島オリブ株式会社 代表取締役 コメンテーター 嶋田 暁文 九州大学大学院法学研究院教授/自治体学会副理事長 15:20 クロストーク 16:00 閉会	○日置市中央公民館 〒899-2592 日置市伊集院町郡一丁目 100 番地 TEL 099-273-1919 J R鹿児島本線伊集院駅より徒歩 15 分 鹿児島交通[51] 「天文館」からバス乗車約 50 分 「伊集院高校」下車	参加費 無料

■ 第38回自治体学会鹿児島・日置大会

日程	内 容	会 場	備 考
8月23日(金)	16:15 研究発表セッション ～ A：議会・行政区長制度 B：政策形成 C：防災・災害 17:45 18:15 自治体学会賞表彰式 ～ 情報交換会 20:15	○日置市中央公民館 〒899-2504 日置市伊集院町郡一丁目 100 番地 TEL 099-273-1919 J R鹿児島本線伊集院駅より徒歩 15 分 鹿児島交通[51] 「天文館」からバス乗車約 50 分 「伊集院高校」下車	大会参加費 【会員】 3,000 円 【非会員】 6,000 円
8月24日(土)	8:30 自治体学会総会 (8:30～9:30) 9:15 受付開始 9:40 分科会 第1部(9:40～11:40) 1 「私」からはじまるまちづくり～地域と若者・女性の交差点～ ～ 2 「多様性」を反映した議会へ～議員人材と議決過程から考える～ 3 少子化時代の小規模校の存続～統合しない選択肢を探る～ 4 (公募企画) 自治行政における「実務」と「理論」の融合 11:40 (昼食・休憩) ポスターセッションコアタイム(12:00～12:45) 13:00 13:00 全体会「自治・分権の現在地を考える」 ～ 14:00 14:10 分科会 第2部 (14:10～16:10) 5 災害対応における自治体間連携 ～ 6 創造的人材と地域の再生～その可能性と取り組むべき諸課題～ 7 分権改革30年～新たな集権と自治の未来を問う～ 8 自治体職員と人材育成 ～自主的な学びや活動をいかに実際の仕事に繋げるか～ 16:10	TEL 099-273-1919 J R鹿児島本線伊集院駅より徒歩 15 分 鹿児島交通[51] 「天文館」からバス乗車約 50 分 「伊集院高校」下車 ※情報交換会会場 ○十八番館 日置市伊集院町下谷口 1970 番地 TEL 099-272-2018	情報交換会参加費 5,000 円
	10:00～16:00 ポスターセッション (コアタイムは 12:00～12:45)	○日置市中央公民館	

■ エクスカーション

日 程	内 容	参 加 費
8月24日(土)	Aコース(日帰りコース) 日置市内を視察後、懇親会を開催 視察先: 日置 nova、鹿児島オリブ、小平本社、カメハウス湯之元、元打ち込み湯	バス代 2,000 円 懇親会費 5,000 円

テーマ

【日置市における自治体職員のキャリア形成戦略】

日時 2024年8月23日(金)
14時～16時(13時受付開始)
場所 日置市中央公民館 中ホール

基調講演

内容 日置市の概要説明
人事施策紹介



永山 由高 (ながやま よしたか)
日置市長

日置市東市来町出身。九州大学法学部を卒業後、日本政策投資銀行へ入行。リーマンショックが契機となり、2009年にUターン。2011年にコミュニティデザインのラボを創業し、10年間経営。2021年5月に日置市長に就任し、現一期目。合併前の旧町4か所を1年ずつ引っ越しながら市政にあたる。対話と挑戦を掲げ、市内の全176自治会との“くさの根対話ミーティング”を開催。趣味のエアギターでは2018年に日本ランク2位に入る。

パネルディスカッション

内容 パネリストの経験や挑戦、現職での取組内容について紹介後、キャリア形成について、会場全体でディスカッションを行います。

パネリスト

順不同



水流 一水 (つる ひとみ)
鹿児島オリーブ株式会社 代表取締役

2004年株式会社鹿児島銀行入行。以降県内店舗での営業や本部業務を経て2015年に(株)JTB九州・(株)JTB総合研究所出向。観光と地方創生について学ぶ。2016年鹿児島銀行地域支援部に勤務後、産休・育休を経て2021年に復職。2022年10月、現役行員として初めて鹿児島オリーブ(株)の代表取締役に就任。日置・鹿児島のオリーブと食の魅力を全国に伝えるべく奔走中。



矢田 映人 (やだ てるひと)

公益財団法人サントリー芸術財団サントリーホール 総務部長

1974年大阪府高槻市生まれ。ウイスキー好きから新卒でサントリーホールディングス(株)に入社。

酒類営業を経て飲料事業のSCMや販売戦略に携わり、持続可能な経済成長や商品の真の価値に意識を向ける。

2022年から2年間、日置市で地場産品の高付加価値化と販路拡大に取り組む。現在はサントリーホールでリスク管理や業務改善に取り組む一方、2026年の開館40周年プロジェクトを推進中。



森満 誠也 (もりみつ せいや)

LR株式会社 経営企画室/日日nova担当/一級建築士

鹿児島大学建築学科を卒業し鹿児島市役所で一級建築士として11年半働いた後、2023年10月よりLR株式会社に転職しました。現職では日置市日吉町にある「日日nova」という廃校活用施設で、施設運営やイベント開催、近所のおばちゃん達と雑談するみたいな毎日を仕事にしています。

5児の父親業がびっくりするぐらい大変で、毎日妻と励まし合いながら子育てに悪戦苦闘してます。



藤川 ひかり (ふじかわ ひかり)

日置市総務企画部商工観光課観光戦略係 主査

出生から現在に至るまで日置市在住。大学卒業後、2016年に日置市役所に入庁。総務課、福祉課を経て、2022年から商工観光課にて観光振興や観光PR業務に従事。2023年1月から3か月間、株式会社鹿児島放送(KKB)に研修派遣。

現在は、商工観光課にて持続可能な観光まちづくり経営を推進し地域主体の取組みを支援する。2019年発足のひおきPR武将隊初期メンバーとしても活動中。

コメンテーター



嶋田 暁文 (しまだ あきふみ)

九州大学大学院法学研究院 教授

1973年島根県安来市生まれ。中央大学大学院法学研究科博士課程単位取得退学。地方自治総合研究所非常任研究員、日本学術振興会特別研究員(PD)、九州大学法学研究院准教授(助教授)を経て、同教授。自治体学会副理事長、日本公共政策学会企画委員長(兼・理事)、日本行政学会理事、コミュニティ政策学会理事。専門は行政学、公共政策論、地方自治論。著書に『ポストモダンの行政学—複雑性・多様性とガバナンス』(有斐閣、2024年)、『みんなが幸せになるための公務員の働き方』(学芸出版社、2014年)など。

第38回自治体学会鹿児島・日置大会 プログラム一覧

2024年8月23日(金)～24日(土)

日置市中央公民館

大会統一テーマ

「まちづくりと地域人材のり・デザイン」

◎第1日 8月23日(金)

＜研究発表セッション (16:15～17:45)＞

会員が自治の諸課題に取り組む実践報告や研究成果などを発表し、会場の参加者と議論を深めます。

セッションA：議会・行政区長制度

- 1 池山 敦 行政区長制度の現在－全国自治体対象調査より－
- 2 本田 正美 市議会 Web サイトの URL から推察する地方議会の情報発信における執行機関への依存状況

セッションB：政策形成

- 1 吉田 泰 飛鳥田横浜市政における自治推進の研究について
－「宅地開発要綱」制定をめぐる－
- 2 塚田 洋 政策形成に資する自治体図書館の成立条件
－松下圭一の「政策情報」に基づく整理－
- 3 大澤 幸憲 障害者支援施設における意思決定支援の検証

セッションC：防災・災害

- 1 山崎 真梨子 自然災害における学校の避難体制構築に係る文献研究とワークショップ手法の検討
- 2 高田 昭彦 行政の補完としての災害ボランティア活動
－災害廃棄物処理そのものの運用、教育を一例に－

＜自治体学会賞表彰式・情報交換会

(18:15～20:15)＞

◎第2日 8月24日(土)

＜分科会 第1部

(9:40～11:40)＞

分科会1 「私」からはじまるまちづくり～地域と若者・女性の交差点～

若者や女性のまちづくりへの参画は望まれる一方、十分には進んでいない。地域側からは「若者や女性は地域に関心を持ってくれない」という声も聞かれるが、実際にはまちづくりへの貢献につながる活動に取り組む若者や女性は少なくない。問題の本質は両者がうまく結びついていないことである。地域側は「Must(義務)」を強調し、若者・女性の「Will(したい)」や「Can(できる)」に寄り添いきれず、若者・女性も Must を重視する地域住民の思いを受け止めきれていない。地域側に根強い情緒的な人間関係と、若者・女性たちにしばしばみられる合理的思考との相性も問題である。本分科会では、地域側、若者・女性側双方に課題があり、解決には行政の役割も重要と考え、それぞれの立場から報告をいただく。Will や Can を重視する「『私』からはじまるまちづくり」の成否が、若者や女性の参画を左右するのではない。参加者と共にこれからの地域やまちづくりのあり方を考えたい。

◎パネリスト 小平 勘太(小平株式会社代表取締役)

◎パネリスト 奥 弘子(福津市神興東地域郷づくり推進協議会前会長(現・福祉部会副会長))

◎パネリスト 原田 紀代美(豊岡市暮らし創造部多様性推進・ジェンダーギャップ対策課課長補佐)

○コメンテーター 阿部 昌樹(大阪公立大学大学院法学研究科教授、自治体学会理事長)

●コーディネーター 相川 康子(特定非営利活動法人NPO政策研究所専務理事)

分科会2 「多様性」を反映した議会へ～議員人材と議決過程から考える～

住民の代表者で構成する議会は「地域社会の縮図」でありたい。定数の多少にかかわらず、住民と地域のさまざまな課題に対応できる活動を期待されているからだ。現実はどうか。議員のかなりの割合は中高年の男性が占め、肩書や経歴の幅も広いとは言えない。議会が住民に近い存在となるには「多様性」を高める必要があるのではないか。

議員が男女同数で、幅広い年齢層で構成する議会になることが望ましいが、すぐに実現させるのは難しい。一方、現状の議員構成であっても、工夫次第で地域の多様な民意を議会活動に反映させることは可能だ。議決の過程により多くの住民が参画することが、その出発点となる。

今回のテーマに沿った議会や住民有志の実践例を踏まえ、議会改革の現在地を確かめながら、「多様性」を反映する議会へ進化する手だてを論じたい。

◎パネリスト 江藤 俊昭（大正大学地域創生学部公共政策学科教授）

◎パネリスト 菅 太助（飯塚シティズンシップ推進代表）

◎パネリスト 山口 ひとみ（鹿児島県霧島市議会議員）

●コーディネーター 前田 隆夫（西日本新聞論説委員）

分科会3 少子化時代の小規模校の存続～統合しない選択肢を探る～

人口減少・少子化の進展により、現在、過疎地域を中心に小中学校の統廃合が相次いでいる。その背景には、国による「手引き」の存在だけでなく、小規模校が抱える教育上の不利性に対する保護者の懸念がある。しかしながら、学校は、子どもの教育施設という側面だけでなく、地域コミュニティの核でもあり、学校が地域に残るかどうかは、コミュニティ活動の活発さを大きく左右する面がある。学校統廃合を安易に推進することは、地域にとって取り返しのつかない悪影響を及ぼす可能性がある。

そこで、本分科会では、小規模校の存続のための方途を探ってみたい。学校を残すためには、少なくとも、①小規模の強みの発揮、②デメリットの克服、③保護者や地域住民との合意形成などが欠かせない（①②についてはICTにより可能性が広がっている）。どのような取り組みや工夫をすれば小規模校の存続につながりうるのか、実際に存続を成し遂げた事例を踏まえながら考えたい。

◎パネリスト 奥 善一（日置市教育委員会教育長）

◎パネリスト 服部 和也（岐阜県山県市教育委員会教育長）

◎パネリスト 調整中

○コメンテーター 田口 太郎（徳島大学大学院教授）

●コーディネーター 坂本 誠（地方自治総合研究所）

分科会4 （公募企画）自治行政における「実務」と「理論」の融合

現代の地方自治の現場では、少子高齢化や人口減少、地域の担い手不足、インバウンド増加に伴う多文化共生や統廃する災害への対処など、行政課題は複雑多様化の一途をたどっています。自治体職員は、少ない人員と限られた予算の中で日々増え続ける業務をこなしていかなければなりません。そのため、目の前の実務の処理に追われてその背景となる理論はどうしても後回しになりがちです。一方で大学の研究者らは、行政職員が取り組む実務に直接的に触れることができる機会も少ないため、その理論はややもすれば机上の空論となってしまおうでしょう。

本分科会では、自治体職員として実際の自治行政の現場に携わり現在は大学で研究に従事する3名の報告者が、自らが過去に取り組んできた様々な行政実務を現在の立場で理論的に見てみたらどうなるか、それぞれの経験をもとに論じていくことで、自治行政における実務と理論の融合のあり方について考えたいと思います。

◎進行兼パネリスト 澤田 道夫（熊本県立大学総合管理学部長）

◎パネリスト 黒木 誉之（長崎県立大学地域創造学部教授）

◎パネリスト 岩橋 浩文（熊本学園大学経済学部教授）

○討論者 竹見 聖司（丹波篠山市役所）

<昼食・休憩

(11:40～13:00) >

<ポスターセッション・コアタイム

(12:00～12:45) >

<全体会

(13:00～14:00) >

「自治・分権の現在地を考える」

今井 照（地方自治総合研究所）

[聞き手] 庄子 まゆみ（南相馬市役所）

＜分科会 第2部

(14:10～16:10) ＞

分科会5 災害対応における自治体間連携考える

阪神淡路、東日本、熊本、能登半島と大地震が発生し、また、豪雨や土砂崩れ災害なども頻発しています。被災自治体の災害対応能力を超える大規模災害が発生した際に、「対口（カウンターパート）支援」など、被災自治体を広域で、遠隔で応援する実践が積み重ねられ具体的な成果をあげています。被災自治体の現場は、当該市町村が中心となりながら、自治体間の水平的な支援と国による垂直的な支援が入り混じる中で指揮命令系統の混乱など、多くの課題も存在します。

実践活動や現場の課題を踏まえて、地方自治法や災害対策基本法など個別法の一部改正や「応急対策職員派遣制度要綱」の策定などの制度設計も進められており、被災地における災害応急措置や復旧復興が円滑に進むよう、国による応援の要求や指示、派遣のあっせんなど、国の役割・権限も強化されてきました。

大規模災害が発生した際の自治体間の応援、受援の実践の中から見えてきた成果と課題を明らかにし、国、都道府県、市町村の政府間の役割、権限を踏まえた望ましい制度のあり方についても議論していきたい。

- ◎パネリスト 石井 孝佳（関西広域連合広域防災局広域企画課長）
- ◎パネリスト 岩下 潤次（熊本県大津町役場総務部総合政策課長）
- ◎パネリスト 村中 洋介（近畿大学准教授）
- コーディネーター 大杉 覚（東京都立大学法学部教授）

分科会6 創造的人材と地域の再生～その可能性と取り組むべき諸課題～

空き家活用などによって、クリエイターなどの創造的人材が流入することによって、新たな活力が生まれ地域の再生への動きが生まれている状況がある。本分科会では、こうした実態を踏まえて、さらにその先を探求すべく、創造的人材の流入が地域にもたらす影響、その可能性について議論を行う。

関係人口としての創造的人材が地域づくりに参画することによって、どのような変化がもたらされるのか。そうした創造的人材を惹きつける要素は何かについて議論を行う。

今大会の開催地である日置市においては、地域おこし協力隊として赴任した吉村氏が、マルシェイベントの拡大、空き家活用による関係人口の創出などを手がけ、ものづくりの郷を、ものづくり以外の側面から下支えする地域商社「美山商店」を創業するなど活躍している。

こうした事例を中心に、創造的な人材が地域にもたらす変化、そしてそれをサポートする自治体政策のあり方について議論を行う。

- ◎パネリスト 吉村 佑太（合同会社美山商店代表）
- ◎パネリスト 永山 由高（日置市長）
- ◎パネリスト ト部 直也（神奈川県真鶴町福祉課長）
- コーディネーター 鈴木 伸治（横浜市立大学教授）
- コメンテーター 嶋田 暁文（九州大学大学院法学研究院教授）

分科会7 分権改革30年～新たな集権と自治の未来を問う～

地方分権改革の端緒を開いた地方分権の推進に関する決議から30年余り、第1次地方分権一括法の成立から25年が経過した。この間、分権改革の成果を活かすべく、議論は繰り返されてきたものの、肝心の実績にはどの程度結びついてきたのだろうか。

さらにいま「再集権化」とも言える事態も生じている。その最たる例は、今般の地方自治法改正による、非平時における国の補充的指示権の創設（本稿執筆時点で国会審議中）である。

改正内容もさることながら、深刻なのは、「再集権化」に対する地方自治関係者の危機感の薄さである。90年代の分権改革を担った先人が次々と一線を退き、あるいは鬼籍に入られる中で、先人の思いを継承し、分権改革の実践を担うべき私たちの役割や責任が問われているのではないだろうか。

本分科会では、昨今の「再集権化」に対する問題意識を共有しつつ、私たちに何ができるのか、自治体はどのように向き合えばよいのか、議論したい。

- ◎パネリスト 土山 希美枝（法政大学法学部教授）
- ◎パネリスト 日野 稔邦（佐賀県庁）
- コメンテーター 今井 照（地方自治総合研究所）
- コーディネーター 坂本 誠（地方自治総合研究所）

分科会8 自治体職員と人材育成～自主的な学びや活動をいかに実際の仕事に繋げるか～

自治体学会は、各地の自治体職員の自主研究グループ活動の全国交流の場として設計された歴史がある。すなわち、自主研究グループに参加する自治体職員が主たる参加者（会員）であった。「全国自治体政策研究交流会議」が研究大会の前日に開催され続けているのもその証左であろう。

一方、一部の自主研究グループを除けば、メンバーの高齢化や固定化、自治体職員そのものの減少などにより、近年は自主研究グループを休会、解散する話題を耳にする機会も増えてきた。

そこで、本分科会では、①開催地である日置市で若手中心に自主勉強会を立ち上げた自治体職員、②学会活動しながら、地域や世代を超えた自主勉強会に参加する自治体職員、③自治体内の政策提言活動から自主勉強会を立ち上げた自治体職員の3名に登壇頂き、「自治体職員と人材育成—自主的な学びや活動をいかに実際の仕事に繋げるか—」について話題提供いただく。もって自治体職員の自主的な学びや活動について会員間で考える機会としたい。

◎パネリスト 松永 真（日置市職員／MALT研究会メンバー）

◎パネリスト 山崎 栄子（大野城市職員／もやい九州メンバー）

◎パネリスト 堀江 亮平（京丹後市職員／Creative Career Clusterメンバー）

●コーディネーター 杉岡 秀紀（福知山公立大学地域経営学部准教授）

ポスターセッション

8月24日（土） 10:00～16:00

地域ブロック単位、個人・団体の報告書などの配布・展示、自治体の取組みの紹介、出版物の展示・配布等を通して、参加者が交流・意見交換できる場としてポスターセッションを開催します。

コアタイム(12:00～12:45)には出展者が展示内容について解説します。

エクスカーション

8月24日（土）

◎Aコース（8月24日 日帰り 視察先から懇親会場まではバスによる移動）

日置市中央公民館前	==	日日 nova	==	鹿児島オーリーブ	==	湯之元到着
16:30 集合・出発		16:50～17:20		17:40～18:00		18:10
==		小平本社、カメハウス湯之元、元湯打込み湯見学		==		懇親会場（湯之元地内）
		18:10～18:50				19:00～

（懇親会終了後は各自で宿泊場所等へお戻りください。）

エクスカージョンのご案内<8/24(土)>

鹿児島・日置大会の統一テーマは、「まちづくりと地域人材のリ・デザイン」です。日置市が進めているまちづくりの事例は、政策研究交流会議でも紹介されています。

今回のエクスカージョンは、その事例を知り、リ・デザインの考え方を学ぶ機会となると思います。コースは、土曜日夕方の日帰りコースです。（視察先は予定です。）

前頁大会申込WEBサイトにてお申込みいただくか、別紙大会申込書のエクスカージョン希望欄にご記入のうえ、8月4日（日）までに、FAX、Eメール又は郵送にて大会事務局へお申し込みください。

8月24日（土）16：30 ～ 18：50

Aコース（日帰りコース）

日置市の公民連携のまちづくりの現地を視察 -廃校の活用・食の魅力・本社の立地・歴史ある温泉-

※最少催行人員に満たない場合は、催行中止となります。

催行中止の場合、8月10日（土）までにご連絡いたします。

※受付はお申し込み順とさせていただきますので、お早目にお申し込みください。

※一部徒歩の行程がございます。歩きやすい服装、靴でご参加ください。

※悪天候や交通事情で、行程の一部を急遽変更する場合もございます。予めご承知おき願います。

※なお、施設見学終了後、参加者による懇親会を開催します。

日置市の公民連携のまちづくりを視察 廃校活用・食の魅力・本社立地・歴史ある温泉

◎ご旅行代金：お一人様 2,000 円 ◎募集人員25名（最少催行人員20名）

旅費に含まれるもの：観光バス代

日時	行程
8/24 (土)	中央公民館前 〓〓 日日nova 見学 〓〓 鹿児島オーリーブ見学 〓〓 16：30 出発 16：50～17：20 17：40～18：00 湯之元到着・・・小平本社、カメハウス湯之元、元湯打込み湯2F を見学 18：10 40分ほど見学終了
	懇親会（炉端焼き味覚） 懇親会費（5000円）はバス代と合わせてお振込下さい。 19：00 ～ 20：30頃まで 終了後は、各自宿泊施設へ移動する。



地域を支えるハマボケカフェ：小平（KOBIRA）の地域貢献施設（小平HPより）

自治体学会事務局からのお知らせ

◆鹿児島日置大会における宿泊について

従来、参加申し込み時に受付をしていました宿泊施設の予約・斡旋は、鹿児島日置大会では行いませんので、ご理解くださいますようお願いいたします。

なお、鹿児島日置大会の会場となる「日置市中央公民館」は、JR鹿児島本線伊集院駅から徒歩圏内にありますが、周辺には宿泊施設はあまりありません。宿泊場所としては、会場へのアクセスでは日置市内では湯之元温泉（最寄り駅は鹿児島本線湯之元駅）が比較的便利です。また、鹿児島市内にはホテルは多数立地しています。（鹿児島中央駅から伊集院駅へは電車で20分弱、湯之元駅からは7分程度）

大会への参加を予定されている方は、各自で、宿泊施設を早目に確保されますよう、お願いいたします。（湯之元温泉の各旅館は電話予約が便利）

◆参加者の受付について

8月23日（金）、24日（土）の2日間、日置市中央公民館1階ロビーに受付を設置します。

参加される方は、必ず、受付を済ませてください。

◆大会資料について

・プログラム集は印刷物としては発行せず、学会ホームページに掲載いたしますので、ご覧ください。

・当日資料集についても印刷物としては発行いたしません。大会への参加を申し込まれた方には、資料の取得（ダウンロード）方法につきまして、大会数日前までにメールで連絡いたします。

・必要な資料は、ご面倒でも、各自でプリントアウトするなどして、ご持参願います。

◆自治体学会総会について

・自治体学会の総会は、8時30分から9時30分までの予定で、「日置市中央公民館」で行います。（会場は当日表示します。）

・総会は、学会の事業計画案や予算案及び役員改選等を審議する重要な会議です。分科会の打合せなど支障のない方はご出席下さい。23日に受付を済ませていない方は、総会后に受付を済ませてください。

◆研究発表セッション、分科会、全体会、ポスターセッションの会場について

・2日間とも、「日置市中央公民館」の各室を使用して開催します。

会場案内を受付で配布いたします。

◆コロナ対策について

・大会当日、発熱等で体調の悪い方は参加を中止してください。

・場内ではマスクの着用をお願いします。また、大声等での会話はお避け下さい。

◆昼食会場について

・会場周辺には飲食店はあまりありません。昼食を持参されるか、弁当の予約をお願いします。

・昼食可能な場所は、当日配布する会場案内をご覧ください。

◆喫煙場所について

・喫煙可能な場所についても会場案内に表示します。

参加申込について

今年度の自治体学会大会は、鹿児島県日置市で行われます。
参加の申込は、事務局が受付窓口となります。
参加を希望される方は下記の方法により申し込んでください。

<参加申込方法>

- 開催案内に示してある「大会参加申込書」により、必要事項を記入の上、メール、FAX、郵送にて事務局へお送りください。
申込書のファイルは学会ホームページにも掲載しています。
 - ・E-mail jichitai-soumu1986@jigaku.org
 - ・郵 送 〒101-0053 東京都千代田区神田美土代町 3-4 ニュー楓ビル 8F
 - ・FAX 03-5577-3187

- 次のサイトからも申し込むことができます。グーグルフォームのアンケート形式の回答により申し込んでください。
申し込み後 送信をクリックすると回答状況が、指定のアドレスに送付され確認ができます。

<https://x.gd/FDfYG>



右のQRコードからも申し込みが可能です。

- 参加申込期限は、**2024年8月4日(日)**です。
- 参加費は次のとおりです。(1日のみの参加も同額です。)
会 員 3,000円
非会員 6,000円

なお、参加費について、自治体学会発行の領収書が必要な方は、直接自治体学会事務局宛にお申し込みください。

・E-mail メール送付先：jichitai-soumu1986@jigaku.org

<参加費の振り込み>

- 大会参加費、エクスカージョン参加費、弁当代については、8月12日(月)までに、振込手続きをお願いします。
- 次のいずれかの口座へ振込をお願いします。振込手数料は参加者負担となりますのでご了承ください。
- 参加費の入金後、公務等の都合により参加できなくなった場合は、事務局に8月16日(金)までにご連絡ください。

【振込先口座】

① 三菱UFJ銀行 八重洲通支店 普通預金 口座番号：0378416
口座名義 ジチタイガッカイ 自治体学会 リジチョウ 理事長 アベ 阿部 マサキ 昌樹

② ゆうちょ銀行 ゼロイチハチ 〇一八 支店 口座番号：0210789
口座名義 ジチタイガッカイ ジチタイガッカイ

<参加証について>

- 参加者には、大会参加証等をお送りします。この参加証は大会当日にご持参ください。

(大会に関する問い合わせ先)

自治体学会事務局 杉渕

電話 03-5577-3187

E-mail jichitai-soumu1986@jigaku.org

<会場周辺案内図>



中央公民館から十八番館までは徒歩 15 分程度

<参考>

鹿児島本線列車情報（土曜日の情報です。詳細は時刻表を調べてください。）

鹿児島中央駅発伊集院・川内方面行き（上り）

- 7 時 00 分（川内行）、24 分（川内行）、58 分（串木野行）
- 8 時 29 分（川内行）、56 分（串木野行）
- 9 時 30 分（川内行）
- 10 時 29 分（川内行）
- 11 時 32 分（川内行）
- 12 時 30 分（川内行）、53 分（伊集院行）

伊集院駅発鹿児島中央方面行き（下り）

- 16 時 35 分（鹿児島中央行）、52 分（鹿児島中央行）
- 17 時 22 分（鹿児島行）
- 18 時 13 分（鹿児島行）、34 分（鹿児島中央行）
- 19 時 04 分（鹿児島中央行）、32 分（鹿児島中央行）
- 20 時 00 分（鹿児島中央行）、16 分（鹿児島中央行）、35 分（鹿児島中央行）
- 21 時 11 分（鹿児島中央行）、33 分（鹿児島中央行）

申込日 2024年 月 日

受付番号

第37回全国自治体政策研究交流会議・第38回自治体学会 鹿児島・日置大会 参加申込書

大会参加のため必要な範囲内での個人情報提供について同意の上、以下の通り申し込みをします。

都道府県名	所属団体・部署名	フリガナ	フリガナ
書類送付先 いづれかに	<input type="checkbox"/> 所属先 <input type="checkbox"/> 自宅	郵便番号	フリガナ
連絡先	TEL	FAX	E-Mail

No.	参加者名簿への掲載の掲載どちらか <input checked="" type="checkbox"/>	都道府県	所属団体・部署名	フリガナ氏名	自治体学会 会員種別 <input type="checkbox"/> 会員・非会員どちらか <input checked="" type="checkbox"/> 会員は会員番号記入 <input type="checkbox"/> 会員番号 <input type="checkbox"/> 非会員番号	政策研究 交流会議	自治体学会							エクスカー ション	弁当
							参加費 【会員】3,000円 【非会員】6,000円 【情報交換会参加費】5,000円	8/23(金)		8/24(土)		8/24(土)			
例	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可	東京都	東京都〇〇区〇〇課	アズマ タロウ 東 太郎	<input checked="" type="checkbox"/> 会員 会員番号 1234	<input type="checkbox"/> 参加費無料	16:15~ 17:45 研究発表セッ ション	18:15~ 20:15 表彰式・ 情報交換会	8:30~ 9:30 総会	9:40~ 11:40 分科会 第1部	13:00~ 14:00 全体会	14:10~ 16:10 分科会 第2部	Aコース 参加費 交通費2,000円 懇親会費5,000円	1,000円	
1	<input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可				<input type="checkbox"/> 会員 会員番号										
2	<input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可				<input type="checkbox"/> 会員 会員番号										
3	<input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可				<input type="checkbox"/> 会員 会員番号										
4	<input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可				<input type="checkbox"/> 会員 会員番号										
5	<input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可				<input type="checkbox"/> 会員 会員番号										

※ 6名以上の場合は、コピーをして対応してください。お問い合わせは下記の自治体学会事務局にご連絡ください。

※下記のURLから申込みます。
https://x.gd/FDYG



申込み用QRコード

(通信欄)

自治体学会事務局

〒101-0053 東京都千代田区神田美土代町3-4 ニュー楓ビル8F

TEL&FAX 03-5577-3187

E-mail jichitai-soumu1986@jigaku.org

「まちづくりと地域人材のり・デザイン」



戦国島津体験館よしとし軍議場



日置市特産 オリーブオイル



日置市特産 月日貝

(写真提供：日置市)

第37回全国自治体政策研究交流会議鹿児島・日置大会 問合せ先

日置市総務企画部企画課行政経営係
〒899-2592 鹿児島県日置市伊集院町郡一丁目100番地
TEL：099-248-9403

第38回自治体学会鹿児島・日置大会 問合せ先

自治体学会事務局
〒101-0053 東京都千代田区神田美土代町3-4 ニュー楓ビル8F G
TEL/FAX：03-5577-3187 HP：<https://www.jigaku.org/>